

聖霊降臨後第12主日特禱（特定17）

慈しみ深い神よ、あなたはみ恵みを常にわたしたちに先立たせ、また伴わせてくださいます。どうかこの恵みによって絶えずすべてのよい業を行うことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 シラ書 10章 12-18節

12 高慢の初めは、主から離れること、人の心はその造り主から離れることである。13 高慢の初めは、罪である。高慢であり続ける者は、忌まわしい悪事を雨のように降らす。それゆえ、主は想像を絶する罰を下し、彼らを滅ぼし尽くされた。14 主は、支配者たちをその王座から降ろし、代わりに、謙遜な人をその座につけられた。15 主は、諸国民を根こそぎにし、代わりに、身分の低い人々を植え付けられた。16 主は、諸国民の領土を覆し、地の基まで破壊された。17 主は、ある人々を取り除いて打ち滅ぼし、彼らについての記憶を地上から消し去られた。18 人間は、高慢であってはならず、女から生まれた者は、激しい憤りを抱いてはならないのだ。19 どんな被造物が尊敬に値するか。人類だ。どんな人が尊敬に値するか。主を畏れる人だ。どんな被造物が尊敬に値しないか。人類だ。どんな人が尊敬に値しないか。掟を破る者だ。20 仲間の間では、権力のある者が尊敬され、主の前では、主を畏れる者が尊ばれる。21 [主を畏れることは、主に受け入れられることの初め、強情と高慢は、主に拒まれることの初めである。] 22 改宗者や外国人や貧しい人、彼らの誇りは、主を畏れることである。23 聡明な貧しい人をさげすむのは、正しいことではない。罪ある人をほめたたえるのは、ふさわしいことではない。24 地位の高い人や判事や権力者は、栄誉を受ける。だが、主を畏れる者は、彼らにまさる者なのだ。25 自由市民が知恵ある奴隷に奉仕しても、分別ある人なら、それをとやかくは言わない。

26 仕事をするとき、理屈をこねるな。困っているとき、見栄を張るな。27 働いて、すべてに満ち足りている人の方が、パンを得る手だてを持たず、見栄を張って生きる人にまさる。28 子よ、慎み深く、自らに誇りを持ち、自分を、あるがままに、正しく評価せよ。

詩 編 第112編 1-9節

- 1 ハレルヤ、幸せな人、主を畏れ // そのおきてを喜びとする人
- 2 その子らは地において強くなり // 心の正しい人の子孫は祝福される
- 3 富と栄えはその家にあり // 正義はとこしえに続く
- 4 直き者のために光は闇の中に輝く // 恵み溢れ憐れみ深く正しい人のために
- 5 幸せな人、惜しみなく貸し与え // 仕事を公正に行う人
- 6 正しい人はとこしえに揺るぎなく // その記憶はいつまでも続く

- 7 彼は悪い知らせを恐れず // 主に信頼してその心は揺るがない
8 心は安らかで何者も恐れず // ついに敵に打ち勝つ
9 彼は貧しい人に惜しみなく与え // その正義は世々に続き、その誉れは高められる

使徒書 ヘブライへの手紙 13章 1-8 節

1 兄弟としていつも愛し合いなさい。 2 旅人をもてなすことを忘れてはいけません。そうすることで、ある人たちは、気づかずに天使たちをもてなしました。 3 自分も一緒に捕らわれているつもりで、牢に捕らわれている人たちの思いやり、また、自分も体を持って生きているのですから、虐待されている人たちのことを思いやりなさい。 4 結婚はすべての人に尊ばれるべきであり、夫婦の関係は汚してはなりません。神は、みだらな者や姦淫する者を裁かれるのです。 5 金銭に執着しない生活をし、今持っているもので満足しなさい。神御自身、「わたしは、決してあなたから離れず、決してあなたを置き去りにはしない」と言われました。 6 だから、わたしたちは、はばからずに次のように言うことができます。

「主はわたしの助け手。わたしは恐れない。人はわたしに何ができるだろう。」

7 あなたがたに神の言葉を語った指導者たちのことを、思い出しなさい。彼らの生涯の終わりをしっかり見て、その信仰を見倣いなさい。 8 イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることはない方です。

福音書 ルカによる福音書 14章 1、7-14 節

1 安息日のことだった。イエスは食事のためにファリサイ派のある議員の家にお入りになったが、人々はイエスの様子をうかがっていた。

7 イエスは、招待を受けた客が上席を選ぶ様子に気づいて、彼らにたとえを話された。 8 「婚宴に招待されたら、上席に着いてはならない。あなたよりも身分の高い人が招かれており、 9 あなたやその人を招いた人が来て、『この方に席を譲ってください』と言うかもしれない。そのとき、あなたは恥をかって末席に着くことになる。 10 招待を受けたら、むしろ末席に行って座りなさい。そうすると、あなたを招いた人が来て、『さあ、もっと上席に進んでください』と言うだろう。そのときは、同席の人みんなの前で面目を施すことになる。 11 だれでも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。」 12 また、イエスは招いてくれた人にも言われた。「昼食や夕食の会を催すときには、友人も、兄弟も、親類も、近所の金持ちも呼んではならない。その人たちも、あなたを招いてお返しをするかも知れないからである。 13 宴会を催すときには、むしろ、貧しい人、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人を招きなさい。 14 そうすれば、その人たちはお返しができないから、あなたは幸いだ。正しい者たちが復活するとき、あなたは報われる。」